

HARLEM

SPIT'EM OUT!

06
Monthly News Paper
June, 2007
Volume 93 Issue 11

"it's absolutely raw"

This paper gives y'all hip hop beats the real words from the real scene...

feature interview

DJ HASEBE

“HONEY DIP mini”の顔でもあるDJ HASEBE。
クラブプレイはもちろん、制作も精力的に活動中!

■1998年にリリースされた作品『adore』を今回セルフリミックスとしてリリースしようと思ったきっかけは?

一昨年、倅田来未が“今すぐ欲しい”のカバーをやったんですよ。その流れで、今でも“今すぐ欲しい”とか“いとしさの中で”なんかは自分でかけたり他のDJもかけてくれたりするんで、かけるんだったら今の自分のプレイに合った質感にリミックスしたいなって前から思ってた。ちょうど9年とか10年も経ってるし、“今すぐ欲しい”がカバーされたから次は“いとしさの中で”を誰かにやってみて、アナログとか出したら面白いんじゃないかなと思ったりもして。その話をレコード屋の人と話してたんだけど、それだったら『adore』を丸々リミックスした方が面白いんじゃないかってところから始まった感じですね。

■実際にやってみて手応えは?

自分にとっては、最近の流れからいくとプロデュースよりリミックスの方が楽しんでやれて。昔は結構悩んだりすることもあって、プロデュースと同じくらい手間ひまかかってたりもしたから、ちょっと大変だと思ってたんだけど。今は自分の制作方法も落ち着いてきて、スキルも身に付いてきているから、ある曲を自分のプレイの中に混ぜるように自分なりに改造しちゃうことが、ここ何年かは素直に出来ていて。単純に、自分が何を作ったらいいかが分かるようになったのかな。自分のプレイを聴きにきてくれるお客さんを納得させるものを作ればいって思えるようになったから、自然と作り易くなってきているんだろうね。だから、ホントに楽しんで2、3日で組み立てて、その後1日スタジオに入って終わっちゃうみたいな感じで、あっさり出来ましたよ。

■“いとしさの中で”はZEEBRAをフィーチャーしていますね。

“いとしさの中で”は、ネタは当時のままでオリジナルを忠実に出して、あの感じを今の子たちに伝えたいというのがあって。だから、ネタは変えずにサンプリングし直してビート感を自分なりに直していったんだけど、変化があまり出なくて、「何かもう一要素欲しいな」って思って。『adore』の中では“今すぐ欲しい”をZEEBRAがやってるから、もう1曲くらいあったらバランスも取れるし豪華な感じになるかなって思って頼んでやってもらった感じです。当時の『adore』は、全体的にクールな感じだけど、今の自分はテンポが遅くても結構激しく打ち込んでたりする方が好きで、そういう派手さが欲しかったんだよね。だから、全体的にあの頃に比べて派手にはなってると思いますよ。ホントにフロアアイテムとして聴いてくれたら、ストレートに聴けるんじゃないかな。

■制作に関して、今後の予定は?

ここ最近だと、Amerieのアルバムの日本盤ボーナストラックとして、自分のリミックスが1曲入ってますね。他には、夏くらいにアルバムを出すラッパーとかで徐々に絡んでる人たちも結構いるんで、それは出てからのお楽しみということで。後は、秋くらいに『adore』の第2弾みたいな形で新しいシンガーを絡めて新曲のアルバムをリリースする予定で動いてます。その他にも、洋楽も邦楽もリミックスは色々やっているので、チェックしてみたら良かったらアルバムも買って下さい。

■DJの視点から最近のクラブやイベントを見て、感じることはありますか?

難しいですけどね。自分たちの年代のDJ達は

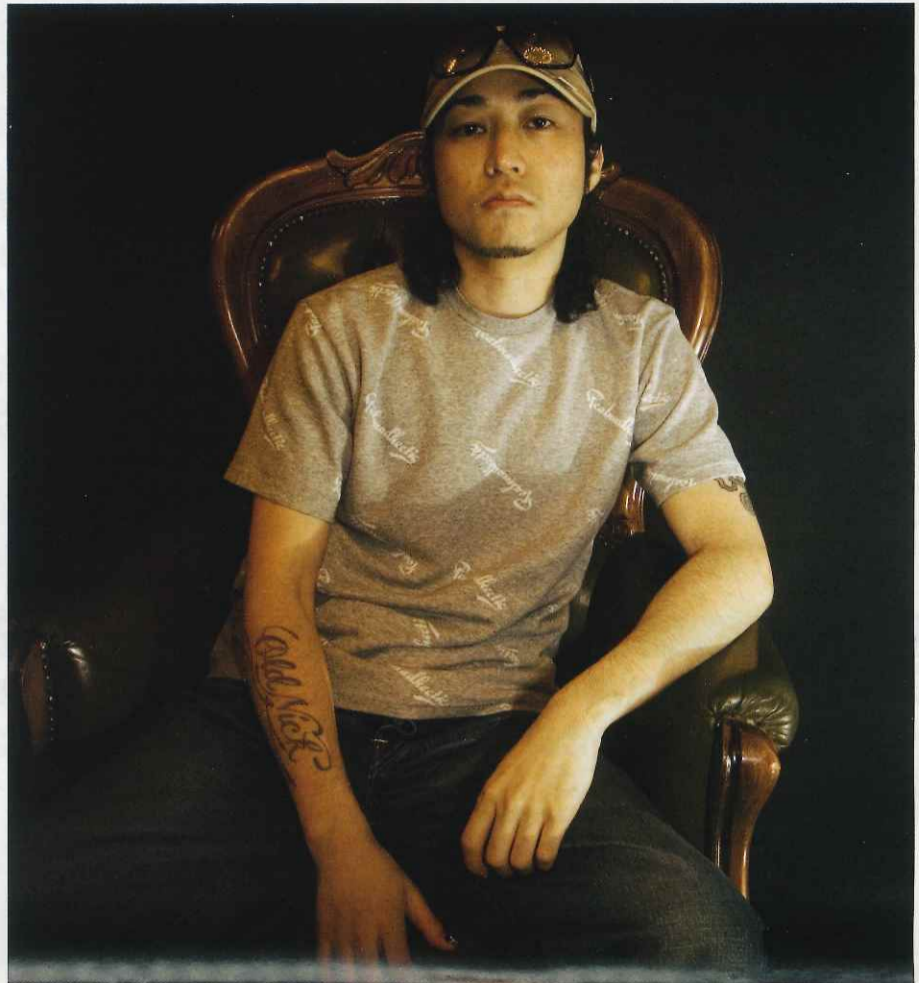
だんだん高齢化してきていて(笑)、今でもみんな最前線で頑張ってるけど、オレは既に多少のジェネレーションギャップみたいなものは感じ始めてきていて。自分がそこにいつまでも居てもしょうがないし、自分たちが25~30歳くらいの間は「30になる前になんとか頑張らなきゃ」みたいな感覚でやってきたから、その辺の世代のDJ達にどんどんパスしていけたらな、とは思うかな。若いDJの子が辞めたとか、諦めて田舎に帰ったとかいう話をよく聞くし。確かに昔よりチャンスは少なくて、DJだけやってるっていうのも煮詰まるし、トラックを作ったりとか誰かとユニットを組んでアルバム出すとか、そういうことがDJにとって難しくなってるんじゃないかな。だから、クラブの関係者だったりオレたちみたいなDJの先輩が、ちょっと意識をしてパスを出してあげるといいのかなって。そうしないと、シーンがどんどん小さくなっちゃうってのは最近感じてるかな。

後は、お客さん一人一人、入り口はみんな違うし、自分に対するイメージもそれぞれ違うと思うんだよね。例えば渋谷のお客さんが持つてる自分に対するイメージと、渋谷を離れたところのお客さんが持つてる自分に対するイメージは全然違うと思うし。幅広くやっているから、いろんなイメージを持つている人たちが来てくれるけど、最終的には自分のプレイを聴いてみんな楽しんでくれるんだと思ってるけど。とは言いつつ、渋谷はホームだって最近思うよ。渋谷からちょっと離れると、お客さんがより一般化されてきていて、狭い部分の分かり易さを求めて聴きにきている人が多くて、それが悪いわけじゃないけど、そういうイベントだったり箱が最近が多過ぎて。それに比べると、HARLEMなんかは安心するというか、ただずっと飲んでいられるっていうか(笑)。自分のストレートなテンションでお客さんも喜んでくれるし、もうちょっと深くまで求めてくるから深くまでいけるし、やっぱり楽しいですよ。

■若手に対してのアドバイスは?

たぶん、DJにとって幅広くバランスを取ってやるってことは、今も昔も必要なことだし、アメリカでもそうやってネームをつけていくしね。特に日本国内だけでクラブプレイだけしてMIX CDを作ってるだけだと、ネームも上がらないしギャラも変わらないし、お客さんから見たイメージ的なものも変わらないし。だから、例えばメジャーでの絡みはメジャーでの絡み、自分たちのシーンでは自分たちのシーンの絡みみたいに、何かしらバランス良くやっていけるような人脈を自分で作っていかなくちゃいけないと思うよ。そのきっかけになるような一つのチャンスみたいなものを、たまに与えてあげられたらなと思って。でも、結局は弱い子は辞めていっちゃうし強い子は残るし、それは当然のことだから、こっちはやり過ぎるつもりもないし、自分たちも現場で頑張らなくちゃいけないと思うけど。

自分のお客さんをいろんなもので楽しませないと。例えば、MIX CDひとつにしてもそうだけど、メジャー音源で出しても自分のオリジナルトラックで出しても、作品を出すってことはたかさんのお客さんに聴いてもらえるわけだし、その曲がレコードになったら他のDJたちもかけるようになってクラブでも聴いてもらえるわけだし、プロモーションビデオみたいな映像で展開したり、雑誌と絡めて展開したり、いろんな方面のお客さんを楽しませることができると。それが一番必要じゃないかって、オレは思いますね。



■地方や海外にもよく行かれていますが、印象に残っている場所はありますか?

アジアで言うと台湾が面白いかな。日本のリスナーに比べたら、更にアメリカのメインストリーム寄りなところはあるんだけど、たぶん日本人が思ってる以上に近代的で、クラブもいっぱいあって。アメリカっぽいセブが遊びに行くようなラウンジもいっぱいあるし、台北なんかには大箱も3つくらいあるし。だから、台湾は面白かったですよ。最近、DJ HASEBE名義でDJする時とOld Nick名義でブレイクビーツ中心にDJする時があって、G.W.中にHASEBE名義とOld Nick名義で2回京都に行ったんだけど、両方とも盛り上がり面白かったかな。Old Nick名義では、まだあんまりDJしてないから、オレがどういうプレイをするのか分からない人も多いとは思いますが、来年あたりからOld Nick名義でプレイする機会を徐々に増やしていこうかなって思ってます。

■制作やDJをしている以外の時間は?

最近渋谷に引っ越したばかりなんで、食器とか電化製品を買いに、適当にハンズなんかをプラブラしてますよ。あとはベタですけど、ピストに乗ってウロチョロしてます。まだ部屋が落ち着いてないから、プラブラしながらいろんな物を買って部屋を色々改造してますね。それ以外は相変わらず引きこもりですね(笑)。まあ、前は世田谷に住んでいたんですけど、その時に比べたら渋谷に越してからはずっと歩けるようにはなりましたけど。引っ越し前はHARLEMに来過ぎてたんで(笑)。さすがにマズイなって感じて今は働いてます。

■“HONEY DIP mini”は?

“HONEY DIP mini”では、DJ HASEBEとOld Nickの両面をバランス良く出してやってるかな。結構行くところまで行くこともあるし、行き過ぎちゃって客を引かせることもあるし(笑)。でも、2階でメインストリームをやってるから、3階はハズしたものをかけれるというか。90年代に“HONEY DIP”に来ていたお客さんも相変わらず来てくれるし、若い子も集まってくれてるから、最近はいい感じになってきていると思うよ。“HONEY DIP”は日本語R&Bをかけたライブやったりで、発信する場所になってたわけだから、今は古いものをかけつつ、その中から独特な新しいものが出てきたら面白くなってって、日

本語R&Bも結構かけてるし。最近、日本語ものに関しては、オレだけじゃなく他のDJもかけるタイミングに困っていたり、かけられるものもそんなに無かったりするから、自分が作った曲くらいはかけようかなって思って。『adore』の“今すぐ欲しい”のリミックスはかれこれ1年前には出来上がって、それを“HONEY DIP mini”ではずっとかけてるから、もう飽きたんじゃないかって思ったりもするけど(笑)。みんなは「今さらアルバム出るの?」って感じかもしれないけど、これからもずっとかけるんで(笑)。そんな感じで、“HONEY DIP mini”は2階とはまた違った感じで楽しいですよ。まあ、3階を改装してからやった2回のうち、1回は飲み過ぎで潰れてますけど(笑)。それほど楽しかったこと。自分が一番盛り上がりた楽しんでるくらい、今一番好きなイベントかな。とりあえず、“HONEY DIP mini”は酒の日なんで、みんな“撃沈”を飲んで撃沈して下さい。それで、オレには“撃沈”を与えないで下さい(笑)。

■DJ HASEBE流クラブの遊び方は?

自分のペースで、無理をせず楽しんで遊んでくれればと。もう大人なんだから、自分の酒の限界も把握しながら飲んで、人に迷惑を掛けないでメチャクチャ楽しんでくれればいいんじゃないですかね。くれぐれも出禁にならないように!

後は、ある程度の夜遊びのルールみたいなものもあるし、そのルールを守りながらみんながハッピーになれるように楽しんで下さい。そうできるようにオレ達はDJで空間を作ってるんで。!!

DJ HASEBE
feat.
"adore the remixes"
Adriana Evans, Sugar Soul,
Emiko, Zeebra



NOW ON SALE !!
WPCL-10412 ¥1,500 (tax in)